

平成24年7月 日

市内小中学校保護者 様

ひたちなか市教育委員会教育長 木下 正善

「いじめの根絶と命の大切さ」について(お願い)

すべての人は、家族や友だちなどの身近な人にとってかけがえのない存在であり、未来に出会うであろう人にとってもなくてはならない存在です。それだけに、いまテレビや新聞などで伝えられている「いじめ」は、絶対にあってはならないことです。

そこで、市内全小中学校の教職員及び児童生徒に、以下のような「いじめ根絶と命の大切さ」を呼びかけました。保護者の皆様におかれましても、その趣旨をご理解くださいますようお願いいたします。

————— すべての人に「いじめ根絶と命の大切さ」を伝えたい —————

<いじめを受けている人へ>

他の人から、嫌がることを言われたり、されたりしていませんか。いじめを受け悩み苦しんでいませんか。もし、つらい思いをしていたなら勇気を出して相談してください。抱えきれないつらさや悲しい思いは分け合ってください。家族や先生、友だちや先輩、相談機関など誰でもいいのです。人は、生きる中で悩みや苦しみがあっても、それを理解し助け合って乗り越えてきました。

どんなことがあろうとも命を絶ってはいけません。あなたはとても大切な存在です。あなたがいることで勇気づけられたり、励まされたりする人はたくさんいます。決して一人ではないのです。

<いじめをしている人へ>

いじめは卑怯で卑しい行いです。どんな理由があろうと、人をいじめ傷つけることは許されないことです。

いじめを受けている人の思いに自分を置き換え、相手の思いを想像し、そのつらさ、心の痛みを自分のものとして感じてほしいのです。

あなたのいじめが多くの人たちを悲しませるということ、その結果、いちばん悲しみ傷つくのは、いじめをした自分自身であることに気づいてください。

<すべての人たちへ>

皆さんの周りで、いじめを受け苦しんでいる人はいませんか。誰も悲しみやつらい思いをすることなく生活するために、一人一人ができることを考えてください。自分の中にあるいたわりや他の人の痛みを感じる心を最大限に生かし、悩み苦しむ人を支えてください。あなたのできることでいいのです。そっとそばにいただけでも、どんなことでもいいのです。絶対に見て見ぬふりをするのはやめてください。困っている人を見捨てない自己を築いていきましょう。

誰もが安心して、夢や希望に向かって生活できることが、私たちの願いなのです。